

研究利用管理番号

23004

研究内容の説明文

臍帯血提供者説明用課題名 (括弧内は申請課題名)	臍帯血の遺伝子発現量差異と移植後生着不全の相関を探索する研究 (臍帯血ユニットの単一細胞解析による臍帯血移植後生着に影響を及ぼす因子の探索的研究)
研究期間	実施承認日 ～ (西暦) 2029 年 12 月 31 日
研究機関名	名古屋大学医学部附属病院 血液内科
研究責任者職氏名	寺倉精太郎

研究の説明

1 臍帯血・情報の利用目的及び利用方法（他機関へ提供される場合はその方法を含む。）

同種造血幹細胞移植において、血縁者や骨髄バンクから適合するドナーが見つからない場合、代替ドナーとして臍帯血が重要となります。一方、臍帯血移植は予後不良な合併症である生着不全のリスクが高いことが問題となります。臍帯血を選ぶ際に、生着不全を減らすことのできる指標を確立することによって、臍帯血移植の適応範囲を拡大し、移植患者さんの予後の改善につながることを期待されます。

本研究では、中部さい帯血バンクに保存されており、ドナーとして出庫された臍帯血の残余検体を用いて、細胞ごとにどの遺伝子がどの程度発現しているかの解析をおこないます。それによって移植後の生着不全や生存といったアウトカムに影響する臍帯血側の因子を探索し、将来の臍帯血選択の指標とすることを目的としています。

患者さんの情報は名古屋大学医学部附属病院血液内科で解析されますが、臍帯血の single-cell RNA シークエンスの結果は東京大学大学院 新領域創成科学研究科の協力を得て解析されます。TRUMP2 から提供されたデータは特定の関係者のみがアクセスできる状態で行われます。臍帯血も中部さい帯血バンクにより匿名化された状態で管理されます。

2 さい帯血バンクから提供される試料・情報の項目

2010年1月1日から2022年12月31日までの期間に中部さい帯血バンクから出庫した臍帯血の保存検体、およびその臍帯血をドナーとして急性骨髄性白血病に対して臍帯血移植を施行した16歳以上の方の移植情報

3 利用する者の範囲

名古屋大学医学部附属病院 血液内科 寺倉精太郎
 一般社団法人 中部さい帯血バンク 理事長 森島泰雄
 一般社団法人 中部さい帯血バンク 管理監督技術者 加藤剛二
 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 教授 鈴木穰

4 臍帯血提供者又はその代理人の求めに応じて、臍帯血提供者が識別される臍帯血・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること

試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので 2023 年 12 月 31 日までに下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

5 4の臍帯血提供者又はその代理人の求めを受け付ける方法

中部さい帯血バンク連絡先：

一般社団法人 中部さい帯血バンク 管理監督技術者 加藤剛二

住所 〒489-8555 愛知県瀬戸市南山口町 539-3 愛知県赤十字血液センター4階

電話番号 TEL:0561-85-5222

本研究に関する問合せ先

所属	名古屋大学医学部附属病院 血液内科
担当者	寺倉精太郎
住所	〒466-8550 愛知県名古屋市鶴舞町 65 番地
電話	<u>TEL:052-744-2145</u>
Mail	tseit@med.nagoya-u.ac.jp